

教団新報

定 価 1部 140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 千共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



冬季バイブルスクール、成人クラス。写真右が筆者。

愛し愛される神の家族の中で

ブラジル

オリンダ メソジスト教会

ブラジル北東部ベルナン
ブコ州レシフエに隣接する
オリンダのメソジスト教
会に遣わされ早くも5年の
歳月が流れました。その景
観を最初に見た人が「オー
リンダ(なんと美しい!)」
と感嘆し、それが町の名前
になったとのこと。
けれど、教会が存在する
アルト・ダ・ボンダーシ地
区は、お世辞にも美しいと
は言えない居住区です。道
路はゴミだらけ、雨季には
ぬかるみ歩行困難な状態
に。多分、住人の半数以上
が満足な職を持てず、生活
はとても困難です。職につ

ながる知識や技量を身に着
ける機会を奪われてきたの
です。昼間から道端にたむ
ろしている若者たち。麻薬
やアルコール依存症、十代
の未婚女子の妊娠、出産は
日常茶飯事です。
ブラジルの社会問題を考
えるとき、ヨーロッパから
の植民地支配と300年間
続いた奴隷制の歴史を無視
しては語れません。上層部
から下層の人々にまで根強
くはびこる腐敗。貧富の差
は世界第2位。基本的医療、
衛生、教育システムの不備
不足。昨今、国中でこれら
の現実に対抗する反対行動が

起こっています。
この困難な現実の中で、
奇跡を求めて叫ぶ熱狂的キ
リスト教会が勢いを増して
います。規則厳守と、献金
を強いるこの宗教活動は、
人間の尊厳を回復させず、
イエスの名を売り物にした
民衆の新たな奴隷化ではな
いかと思われれます。
そのような周辺環境の中
で、私たちの教会は小さな
群れですが、生活と信仰を
分かち合って、助け合う共
同体形成を目指して歩ん
でいます。礼拝や祈禱会では
元氣いっぱい賛美し、感謝
の証しをし、熱心に祈る
人々の姿に、イエスが生き
て私たちの間におられる！
と、いつも心燃やされる思
いを味わいます。
また、隣接する託児所は
地域の子どもを無料で保育
しました。彼は、枢機卿時

代、ローマには赴かず、ブ
エノスアイレスの民間アパ
ートで生活し、バスと地下
鉄を乗り継いで貧困地区へ
出かけ、貧しい人々を助け
ながら歩いてきました。そ
の中で彼は主イエスの思い
を感じ取ってきたのです。
とは僅かですが、一人の日
本人宣教師がこの地に存在
することで、日伯の宣教協
力が促進され、設備的にも
社会奉仕の拡大にも希望が
生まれています。
立ちほだかる悪の現実を
前に、ときに無力を感じつ
つも、私自身は愛し愛され
る神の家族の中でも幸
せです。将来ブラジル宣教
師を志す人は、いつでも体
験学習においでください。
アルセンチン出身の教皇
フランシスコが7月末にブ
ラジルへ来られ、人々と触
れ合い、行動を通して語ら
れました。彼は、枢機卿時

荒野の

神学校を卒
業してから何
度か中断しな
がらも説教の
学びを続けて
いる。教職た
ちの学びの会である。実
際に礼拝で語った説教の
録音を持ち寄り原稿に照
し分析する。単に印象を
語ることに終始しないよ
う心がけ、語られた説教
を言葉に即して客観化す
る作業をする。分析され
る課題を持ち寄った当人
は、自分の語ったところを
のたうか。▼言った、言
われないのけんかは子とも
なかなか難しい。▼学びに
は信頼関係が必要であ
る。教職同士であり、同じ
務めに勞し同質の信仰に
基づいて御言葉を語るた
めに仕えている信頼であ
る。この信頼があつては
じめて批判は批判として、

在外宣教師報告

カナダ◆木原葉子宣教師／ブラジル◆小井沼眞樹子宣教師

カナダ

バンクーバー ギルモアパーク合同教会

神の創造の豊かさを 摩擦の中にも見出す

昨年9月、思いがけず、
西海岸バンクーバー空港の
町、リッチモンドに位置す
るギルモアパーク合同教会
から招聘されました。カナ
ダ合同教会に属する多くの
教会がメンバーの高齢化と
財政難に苦しみ、ギルモ
アパークは、15年前に教会
の土地建物を再開発して、
隣にシニア向けケア付き住
宅を建てて財政問題を解
決、さらに、その収入を基
に地域への活発な奉仕活動

を展開するユニークな教会
です。
日曜日の礼拝出席は80名
ほどで、決して大教会とは
言えませんが、礼拝・牧会
担当のメギー・ワッツ・ハ
モンド牧師と共に、教会教
育・社会奉仕担当牧師とし
てあえてアジア系移民のわ
たしを招聘した背景には、
リッチモンドに増え続ける
アジア系移民をもっと教会
に招き、その求めに応えた
いという招聘委員の祈りと

願いがあつたと聞きます。
多文化多民族の人々が集
う教会で働きたいと願って
いたわたしにとっては、ま
たとな環境が与えられま
した。教会のアクティブメ
ンバーの中には、数の上で
は2割ほど、中国、韓国、
フィリピン、スリランカ、
マレーシア、南米のガイア
ナ、と実に様々な国から来
た移民の人たちがいます。
また、地域への奉仕活動
の要として行われている毎

週末曜日のコミュニティミ
ール(だれにでも開かれた
フリーのディナー)には中
国系のゲストが増え続けて
います。リッチモンドには
'80年代以降、香港から続い
て大陸からの中国系移民が
多数移住して、大きなチャ
イナタウンを形成し、中国
語だけで生活できる環境が
整っています。高齢者のみ
ならず、若い世代にも英語
が分からない人たちが相当
数いることがわかり、赴任

後間もなく、英中両語によ
るアナウンスと食前の祈り
を始めました。ヨーロッパ
系カナダ人のゲストの中
に、露骨に不快感をあらわ
す人たちがいましたが、決
1年経って、ようやく受け
入れられたようです。
コミュニティミールのシ
エフはリッチモンド育ちの
中国系カナダ人女性です。
地域の無農薬農場やフード
バンク等と強いパイプを持
ち、安価で栄養価が高くお
いしい食事を提供していま
す。ただ、それゆえにゲス
トが増え続け、教会のホー
ルに入りきれないほどの
人々が集まると、ゲストの
間に様々な諍いが生じま
す。生活に困窮するカナダ



赴任初の日曜日に、ハモンド
牧師とケーキカット
2013年春、先住民の長老た
ちを迎えての特別な礼拝

人の中には、中国系移民の
人々への民族差別と嫌悪感
をむき出しにする人もいま
す。言葉と文化習慣の違い
を超えて理解を深めるのは
容易ではありませんが、決
して悲観していません。
それは、移民として、日
本とカナダの狭間に生きる

中で、行き先も知らずに旅
立ったアフラハムとその子
孫の物語、見知らぬ土地で
異邦人伝道に献身した使徒
パウロの言葉がより深く心
に響くようになり、また、
マイノリティとして生きる
悲哀と同時に文化の違いを
超えて共通の地平を見出す

喜びをも経験したからで
す。日々異なる人々との出
会いを心深く受けとめ、違
いゆえに起こる摩擦の中
にも神の創造の豊かさを
見出したと願っています。
(木原葉子報／カナダ合同
教会ギルモアパーク合同教
会)

▼社会委員会▲

福島県内被災教会・施設を訪問

第38総会期第3回社会委員会が、9月30日から10月2日にかけて開催された。福島新町教会を会場に行った会議では、冒頭、9月21日に1名の死刑が執行されたことに伴い、即日、社会委員長名で要望書「死刑執行を繰り返さないよう要望します」を内閣総理大臣、法務大臣宛てに送付したことを確認した。

そのほか、EMS（旧南西ドイツ宣教会）の要請に呼応するシリア難民支援、長期療養教師へのクリスマス見舞金の取り扱い、2つの協力団体（日本キリスト教社会事業同盟、日本キリスト教保育所同盟）の報告、そして来年の全国社会委員長会議などについて協議した。

会議の前後には、福島県内、東日本大震災被災教会及び社会福祉施設を次のとおり訪ねた。



会津放射能情報センター

〔1日目〕磐城教会、（社）福白水のぞみ保育園、〔2日目〕会津放射能情報センター／放射能から子どものいのちを守る会、浪江伝道所（帰宅困難区域内、小高伝道所（同）、鹿島栄光

10月1日ハートンホテル西梅田にて第3回教師委員会を開催した。

委員長及び事務局報告に続いて、道家紀一担当幹事より、13年度東京神学大学交付金、神学教育交付金、12年度神学校日献金送金報告、13年度神学校日献金のお願い、13年度教師継続教育研修費援助中間報告、教師養成制度検討会議についての報告を受けた。

福島県の教師問安（8月末と9月初旬の2回実施）について、吉澤永書記が記した教団新報及び、KNL（教団ニュースレター）について内容を確認した。教師委員会としては、救済対策本部会議を福島で開くことを、石橋秀雄教団議長に要望することとした。

▼教師委員会▲

関西2神学部問安を実施

教会、〔3日目〕福島新町教会、福島教会。いわき、会津、福島と訪ねた先々では、震災後2年半という年月を経てなお教会と地域が向き合う諸課題

を教えられることとなった。また、放射能汚染による帰宅困難地域に至っては、課題と向き合う足場さえ失っている現実を目の当たりにすることとなった。白水のぞみ保育園においては、園児に供する食品の安全を確保するべくカンマ線測定機を独自に設置している。これは会津放射能情

報センターにおいても同様で、測定器を地域の人々にも見解の相違から軋轢が生じるといふ。和解の福音を携え世に伝える、かの地の安、また食品の安全を確認するために払う物理的・精神的労力は計り知ることができない。

一方で、子をもつ親と周囲の人々、地域住民と震災後の転入住民、時に一つ屋根の下に生きる家族の間にも見解の相違から軋轢が生じるといふ。和解の福音を携え世に伝える、かの地の安、また食品の安全を確認するために払う物理的・精神的労力は計り知ることができない。

（村上恵理也報）



上、同志社大学神学部礼拝堂
水谷誠学部長（左）
下、関西学院大学神学部礼拝堂

教誨師会◆研修会・教区代表者会

日本基督教団教誨師会「研修会・教区代表者会」が7月29、30日、日本基督教団榊井沢南教会において、33名の出席で開催された。この研修会は設立から毎年行われ、今年で4回目となった。

今年度は、都会から離れ、避暑も兼ね、自然豊かな榊井沢での開催とした。榊井沢教会の宮澤豊牧師には、会場教会として心からのもてなしを受け感謝であった。

教団教誨師会は、教団伝道委員会の協力を得て、刑務所や少年院をはじめとする法務省所管の矯正施設において宗国人被収容者の教誨も行っているチームズ・サック氏を講師として、「外国人被収容者の教誨」とフレイリチュアル・ペインとそのケア」に要な一つとして、「研修会と教

特に、カウンセリングを専門とする教授の講演をとおして、4つのスピリチュアルな痛み（意味の痛み・関係の痛み・許しの痛み・絶望の痛み）についての説明があり、「受刑者にとっては、絶望の痛みが

一番強烈な痛みとしてあり、これが生きる意味を全く失わせしめる地獄の苦しみとなる。教誨師は、この痛みを聴き、これに寄り添う役割にある。是非、各教区においても教誨師の働きに理解をいただき、祈りと支援をようしくお願いしたい。

（加藤幹夫報）



▼宣教研究所委員会▲

宣研管理資料の整理・保存を協議

見、提案等を読み合わせ、個別に検討することになった。重複している意見は特に慎重に吟味したと考えている。

7月および8月に開かれた2度の作業部会を受けて「改訂宣教基礎理論」第一次草案の修正に多くの時間を費やし、その結果、第二次草案を常議員会に提出するに至った。

第一次草案に対する応答は、教団諸委員会や多くの教区から郵送、ファクシミリ、Eメールで既に送られて来ているものである。当委員会ではそのすべての意

日本キリスト教会館問題は保管場所の移転も視野に入れねばならない。そうとすれば、資料の保管形式もデータ化、マイクロ化するなどの対処が求められる。長崎哲夫総幹事と協議し、適宜対応して行く。

なお、長崎総幹事には委員会に2度陪席してもらい、慰労の言葉の他、改訂宣教基礎理論第一次草案の修正作業に対する意見、東日本大震災国際会議の意義等についての説明を聞いた。委員一同、宣教研究所管理者としての総幹事の働きに感謝した次第である。

（寺田信一報）

《東京教区・東日本大震災特別礼拝》

5支区聖歌隊が讃美

東京教区の東日本大震災を覚える特別礼拝が、10月27日午後、銀座教会で開催された。

礼拝（司式・鈴木秀信（船橋教会）、奏楽・草間美也子（銀座教会）で岸



30 教会から 207 人が出席した。

俊彦牧師（経堂北教会）は、「時」と題する説教（ヨハネの黙示録1・1〜3）で、「黙示録の著者ヨハネの『時』とは、キリストの『時は満ち、神の国は近づいた』の『時』であり、過

ぎ行く時間ではなく、特別な決定的な『時』だ。決定的な『時』の開始は、産みの苦しみの始まりだとキリストは語った。3・11は、まさに決定的な『時』に違いない、ますます先行きの見えない、困難な時代となった。神の計画と必然は、私たちには計りがたい。だから、いつも目を覚ましていなければならない。ヨハネは、礼拝を考えて黙示録を書いた。神の御前に集うこと、礼拝者の幸いが分かる。教会で真の礼拝の実現する時が終わりの時の光景だと述べた。

歌隊讃美（司会・宮越光（松戸教会）に移った。東京教区は、70年の万博出展問題で起きた激しい対立で、90年の再開まで20年間、教区総会が開けなかった。この間、75年に活動を支区に委ね、教区は連絡・調整役を担って来た。09年の能登半島地震特別礼拝が紛争後初めてで、今回が復活後3度目の合同讃美だった。

西南、南、北支区が合同聖歌隊、東支区が銀座教会、千葉支区が柏教会聖歌隊の讃美で、最後は、5支区聖歌隊讃美の恒例ともなった会場全員での「ハレルヤ・コーラス」（メサイア）を声高らかに歌った。礼拝には、30教会から207人が出席。当日の献金、15万9千490円は東日本大震災募金に献げられた。（永井清陽報）

共に祈り、支えよう！
Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

2013年12月
教団救援対策本部長 石橋秀雄
目標額 10億円（国内のみ）
期 間 2011年7月1日～2015年3月31日
振替番号 00110 - 6 - 639331
加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

東日本大震災を覚えて、多くの祈りが捧げられてきました。被災された方々を覚えて、多くの祈りが捧げられてきました。宗教法人立、社会福祉法人立、その他の法人立にかかわらず、また無認可のボランティアの皆様を覚えて、祈りが捧げられてきました。特別の思いをもって、働きを担っておられる皆様を覚えて、祈りが捧げられてまいりました。そして今も、祈りと共に、全国の諸教会から、日本基督教団東日本大震災救援募金が捧げられています。深く深く感謝をいたします。

社会事業奨励日メッセージ

今年も12月第一主日の「キリスト教社会事業を覚えて祈る日」を迎えます。日本全国に、多くの働き人が散らされています。十分に光の当たっていないところには、さらに光を当てようとしているわたしたちの仲間がいます。継続が大事な福祉を、心を込めてこれからも続けよう努力している仲間がいます。そして東日本大震災の中で、心のこもった福祉を実践しようと思心かけている仲間がいます。祈りをあわせて支えたいと思います。日本における社会福祉の根拠となるものは日本国憲法第25条です。「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を

有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」また『福祉六法』と呼ばれる法が定められています。老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法です。それに老人保健法と社会福祉法を加えて『福祉八法』と呼ぶこともあります。憲法に基づいて社会福祉を支えるものとなっています。社会福祉事業は、社会福祉法二条で定められている事業のことを言いますが、その内容は多岐にわたり、細部にいたるまで触れられています。わたしたちの日本社会に社会福祉が体系的に入ってきたのは、プロテスタントのキリスト教が伝えられてからでした。また、心のこもった福祉を実践しようと思心かけてきたのも、キリスト教社会福祉事業でした。

実際の働きがあります。祈りをあわせて、支えたいと思います。
2013年12月1日
第38総会期日本基督教団社会委員会 委員長 釜士達雄

《東中国教区宣教部社会委員会主催》部落解放劇

東中国教区にて初めての試み

10月28日、東中国教区宣教部社会委員会主催の部落解放劇が岡山教会に於いて行われた。これは東中国教区で初めての試みであった。

今回のテーマ「希望を生み出す」(ローマ5:3〜5)

によって行われるのは4度目であった。

劇の内容はある教会で過去におこった部落差別が問われるものである。

5年間無牧の教会があった。そこに転任してきたばかりの、新牧師は部落差別問題などの研修に力を入れていく。ある日役員の高森に「もっと大事なことがあるのではないですか」と言われ教会のあるべき姿が問われていく。そんな中で牧師は教会の女性谷田から牧師になりたいと相談をもちかけられ、また狭山事件に取り組み青年やまぐちの酒屋のおかみから教会で5年前にあった部落差別について聞かされる。

やまぐちの活動が問題視されるも、一方で役員会では5年前の差別が糾弾される。わたしたちは知っています。苦難は忍耐を、



忍耐力は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。果たしてこのみことばはどのようなかたられるものなのか。劇は結論を見ない。全ては聴衆に呼び掛けるものでここから人々が何を考えるかが問われるものだろう。劇後、休憩をはさみ質疑応答が行われた。出演者の自己紹介の後、解放劇への取り組み方、脚本について昨年とどのように変わったかが説明された。福島第一原発事故を扱った箇所が狭

山事件になったという。聖餐に関する差別は実話をモデルにしており衝撃的であった。差別は教会でさえおこるという主張は聴衆全体に伝わっただろう。そしてこの主張は傾いたとき、役者達にも刺激となったようだ。解放劇の課題としては、より規模を大きくしていく教団・教区総会にも見合っものがあられる。それを教団全体で支えていかなければならないだろう。（根津仁詩報）

私は依頼を受けて教会や神学校にお話に伺うことがよくあります。その中で様々な声があります。ある集会で「私はクリスチャンです。聖書には、みんな神様に愛され、平等だと書かれています。だから差別をしたことがありません。私は、被差別部落の人が差別を受けて大変苦しい思いをしているのを知っています。だから、私の家族がこんな事になったらと思うと被差別部落の方との結

委員会コラム

部落解放センター運営委員会
全ての差別がなくなるため
東谷 誠
しづらいか、そして聖書はどのように語っているかを話します。差別はどのような理由があってもよくないです、と話します。部落解放センターは日本基督教団の業務機関として設立されました。教団の大阪分室としてセンタ

ーが開所して32年になります。その間様々な取組みをしてきました（取組みについては、センターホームページをご覧ください）。2000年制定の日本基督教団部落解放方針（教憲教規）ののっとり活動をしています。その方針には反差別の連帯も明記されており、部落差別がなくなりするように、全ての差別がなくなりますように」と願い、祈り、取組みをしています。いつの日か必ず差別のない社会がやってくる、信じています。

2013年12月に機関誌「良き日のために」が発行されます。ご期待下さい。ぜひ読んで下さい。（部落解放センター運営委員長）

消息

河村 博氏（高円寺教会主



担任教師）

13年9月30日逝去、69歳。神奈川県に生まれる。'73年日本聖書神学校を卒業。同年志布志教会に赴任、溝ノ口教会、蒲田新生教会、調布教会を経て、13年より高円寺教会を牧会した。遺族は妻・河村英子さん。

榮 英彦氏（隠退教師）



13年11月4日逝去、82歳。樺太・豊原に生まれる。'57年東京神学大学大学院を修了。同年奄美大島で開拓伝道、瀬戸内町伝道所、瀬戸内教会（61年設立）、札幌教会、麻生伝道所、麻生教会（'72年設立）を牧会し04年隠退、07年復帰後12年まで札幌教会を牧会、隠退した。遺族は妻・榮潤子さん。

事務局報

教師異動

田辺 就担（磯部理一郎
武蔵ヶ丘 就（代）難波信義
鏡石 辞（代）今野善郎
〃 就（代）新井 秀
東北学院中学高校 辞（教）永井英司
いのちのこは 就担 鈴木由加子



松本宣教師シンガポールへ

第38総会期第3回世界宣
教委員会が10月18日教団会
議室において行われた。

韓国・釜山で開催される
第10回WCC総会に、当委
員会の秋山徹委員長が出席

宣教師派遣式行われる

▼世界宣教委員会▲

することが報告された。また、吉岡光人委員が出席したスイス・チューリヒで行われた「宗教改革500年記念準備会議」の報告があった。

委員会に引き続いて、在外教師としてシンガポール日本語キリスト教会に赴任する松本章宏牧師の派遣式が鍋谷憲一委員長司式、秋山委員長の説教により行われ

た。松本宣教師の任期は2013年3月1日から2016年3月31日までである。同牧師は既にシンガポールに赴任し同教会での働きを始めているので、今回、一時帰国に合わせ派遣式という運びとなった。派遣式にはシンガポール日本語教会の現会員や元会員、更には松本牧師の前任

地であるインドネシア・ジャカルタ日本語教会の関係者の出席もみられた。日本語教会のメンバーの日本における所属する教派はさまざまであるが、日本語教会の会員のメンバー間の絆の確かさとアジアにおける日本語教会間の交わりの深さを感じることができた。

派遣礼拝の後には和やかな雰囲気の中で茶話会が持たれ、会の終わりに、松本牧師夫妻の働きの上に主の祝福があることを出席者全員で祈った。

(吉岡光人報)

フィリピン台風被災者救援募金のお願い

聖名を崇めます。11月8日、フィリピンを台風30号が直撃いたしました。国連の発表(11/14)によりますと、死者4,480人、避難者92万人、被災者1,160万人と伝えられます。

社会委員会ではすでに被災者救援活動を始めたACT(Action by Churches Together International)の呼びかけに応え救援募金を行います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2013年11月18日

日本基督教団社会委員長 釜土達雄

◎募金期間 2014年1月末

◎目標額 特に定めず

◎送金先 加入者名 日本基督教団社会委員会

◎郵便振替 00150-2-593699(通信欄に「フィリピン台風被災者救援募金」とお書きください)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

日本基督教団社会委員会(TEL 03-3202-0544)

東日本大震災国際会議



原子力安全神話に抗して ―フクシマからの問いかけ―

◆東日本大震災3周年記念礼拝

日時 2014年3月11日(火) 午後2時～3時30分

場所 東北学院大学ラーハウザー記念礼拝堂

◆東日本大震災国際会議記念講演

日時 2014年3月11日(火) 午後4時～5時30分

場所 東北学院大学ラーハウザー記念礼拝堂

講演 姜尚中氏(聖学院大学全学教授・東京大学名誉教授)
……………《いずれも入場無料》……………

◆東日本大震災国際会議

日時 2014年3月11日(火)～14日(金)

場所 東北学院大学

《参加ご希望の方は下記へご連絡ください》

日本基督教団事務局総務部

TEL 03-3202-0541、メール somu-b@uccj.org

信徒の篤き祈りによって溢れ出る奉仕へ

「隠退教師を支える運動」全教(支)区推進協議会を終えて

「隠退教師を支える運動」全教(支)区推進協議会が、去る10月8日より9日の二日間、教団身すなわち、『自らを主に献げる』こと、しかも喜んで献げる者には長崎哲夫総幹事、飯田安晴年金局理事長、櫻井淳子年金局業務室長の陪席を頂き、計良祐時監事、高橋豊監事共々、31名でありました。

会議に先立って、開会礼拝が捧げられ、長崎総幹事により、『コリントの信徒への手紙二』8章1～7節のみ言葉による「パウロの慈善の業と奉仕」と題する説教を戴きました。

『施すこと』『奉仕をする』とは、豊かな中にある有り余るものにおいてなされるものではない。貧しくとも、自ら進んで豊かになす所のものだ。パウロは福音の伝道者としてその生涯を語ると共に、エルサレム

レムの貧しい信徒のための托鉢を貴いた。献金は、究極的に献身すなわち、『自らを主に献げる』こと、しかも喜んで献げる者には長崎哲夫総幹事、飯田安晴年金局理事長、櫻井淳子年金局業務室長の陪席を頂き、計良祐時監事、高橋豊監事共々、31名でありました。

合で出席出来ない推進委員に代わって出席した方が紹介され、拍手をもって歓迎の意を表しました。

2012年度事業報告、同決算と13年度計画(目標)額の報告があり、決算については献金総額7360万円余りとなり、前年度を下回りましたが計画通り年金局に5100万円余を繰り入れ、クリスマス祝金1956万円を贈呈する事が出来た感

謝でした。詳しくは教団新報・年金特集№58をご覧ください。年度報告の後、年金局理事長飯田氏によって「教団年金制度概略説明」が行われました。特

「慈善の業」として、今後も歩み続けていくことを示され全日程を終えることが出来ました。この「隠退教師を支える運動」が、信徒の篤き祈りと、それに

に仕えておられる教師方をも視野に入れた、全教団的取り組みとして考えていくことの大切さを学びました。

その後、分団に分かれて、各教区、支区、地区における推進活動の現状、各教会としての取り組みについて

の語り合いを踏まえ、この大切な信徒運動を支えていくについては、教会形成としての豊かな霊性」のもとで育まれていく



(鈴木秀信報)



小林 香太さん

賜物をお返しする 讃美を



1976年生まれ。東京クローバ一指揮者。大和キリスト教会員。

の演奏会で、瞬で心変わりし、進路が確定したという。

「歌う体育会と呼ばれることがある同志社グリーで合唱漬けの日々を送り、後半2年間是指揮者を務めた。

学内礼拝での奉仕はもちろん、国内のみならず海外への演奏旅行等、活発に活動。『音楽活動を単に自分の趣味に合ったこととして経験するだけでなく、一人のクリスチャンとして体験できたことが、非常に幸せでした』と小林さんは語る。

教会に行けない日が続く時にも、信仰を歌う曲を讃美する度に、主が共におられることを受

け止め感謝に満たされる。

就職して間もなく、OBの合唱団である東京クローバーの指揮者に抜擢された。自分よりもはるかに年配のメンバーたちの思いを聞きつつ、リードして行くことに苦勞もあるが、本番で思う以上の合唱が奏でられ、驚喜することもある。現在は、毎年、各地の教会に呼ばれ、礼拝讃美、チャペルコンサート等の奉仕を行っている。喜んで演奏を聞いて下さる方々と、主を讃美するステージを作り上げて行くことを心がけているそうだ。

「自分にとって音楽は、神様に賜物をお返しすることに他ならない」と小林さんは語る。